

「京大農薬ゼミ」が見た 愛媛の柑橘栽培



「京大農薬ゼミ」は、農薬を少しでも省いた「省農薬栽培」の可能性を探る、京大生を中心とした自主ゼミ活動です。1970年代から、和歌山の農家と二人三脚で、みかんの省農薬栽培に取り組まれています。

さる10月、京大農薬ゼミのメンバーが来県し、愛媛で柑橘の有機・省農薬栽培に取り組む農園・農家を訪ねました。彼らに愛媛の柑橘栽培はどう映ったのか・・・。

今回のトークセミナーでは、京大農薬ゼミとオンラインでつなぎ、ゼミの取組、愛媛訪問での発見や気づきをお話しいたします。愛媛でお訪ねした無茶々園、ユウギボウシ愛媛の方にもご参加いただき、柑橘の省農薬栽培の現状、課題と可能性について議論を深めます。

2022 12/9 (金) 18:30~20:30

要予約
無料

@愛媛大学E.U.Regional Commons (ひめテラス) 1階 & Zoom開催

オンライン
参加

講師紹介

いしだ のりお

石田紀郎

NPO法人市民環境研究所・代表理事

1940年生まれ。京都大学農学部卒業。専門は植物病理学。同学部助手、助教授をへて、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科教授。1968年、みかんの農薬散布で高校生が中毒死したことを契機に農薬裁判に関わり、その後「京大農薬ゼミ」にて、学生と共に省農薬みかんの調査と販売に取り組む。著書に『ミカン山から省農薬だより』（北斗出版、2000）、『現場とつながる学者人生—市民運動と共に半世紀』（藤原書店、2018）、など多数。

おきはら けいじ

沖原慶爾

京都大学農学部食品生物科学科2回生
京大農薬ゼミ・代表

和歌山県海南市下津のみかん山に通い、病害虫・収量調査からみかんの販売にいたる「京大農薬ゼミ」の活動に携わり、「下津きょうだいみかん山」を支えている。

- ・「京大農薬ゼミ」<https://nouyakuzemi.jimdoofree.com/>
- ・「下津きょうだいみかん山」
<https://www.skmikanyama.com/>

コメンテーター

リアル
参加予定



みやべ もとはる

宮部元治

ユウギボウシ愛媛

愛媛・佐田岬半島の先端部、伊方町名取地区で、除草剤を一切使わず、柑橘の減農薬栽培に取り組む。自然栽培のみかんの木のオーナー制度や、故郷・名取の再生、自立した新しい町づくりをめざす様々な活動を展開している。

リアル
参加予定



ひらの たくや

平野拓也

株式会社
地域法人無茶々園

1974年以来、西予市明浜を拠点に柑橘の有機栽培に取り組む「無茶々園」。東京大学を卒業後、2001年、農業研修生として無茶々園に参加。現在、株式会社地域法人無茶々園の専務取締役。

◎協力

- ・えひめ農業遺産でなんかしようや!の会
- ・京大農薬ゼミ
- ・愛媛大学社会共創学部
農山漁村マネジメントコース学生有志
- ・愛媛県南予地域農業遺産推進協議会

えひめ農業遺産で
なんかしようや!の会



お申込・お問い合わせ: 12/8 (木) ✕

- ・QRコードを読み込み、フォームに必要事項を入力してお申し込みください。
- ・QRコード読み込みが難しい場合、下記メールへ①~④をご連絡ください。

①お名前②ご所属③ご希望の参加方法 (対面 or Zoom) ④連絡先

えひめ農業遺産でなんかしようや!の会 (ehime.giahs@gmail.com)

☎089-927-8311 (担当: 松下)

